

第 23 回ジャパンオープンハンドボールトーナメント中国地区予選会 第 38 回全国クラブハンドボール選手権大会中国地区予選会

競技上の注意

〔男子〕 平成 38 年 5 月 18 日（金） 17 時 吳市体育館 会議室 201 号室
〔女子〕 平成 38 年 5 月 19 日（土） 17 時 日新製鋼(株)呉製鉄所体育館会議室

1. 競技規則およびチーム構成

- ① 当大会は、平成 30 年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって実施する。
- ② 試合毎の参加人数は、次のとおりである。

大会名	チーム役員	選手	備考
男子/J O 予選	4 名以内	16 名以内	
男子/クラブ予選	〃	〃	
女子/J O・クラブ予選	〃	〃	

2. コート

日新製鋼(株)呉製鉄所体育館（40m×20m）

3. 競技方法および競技時間

大会名	競技時間(分)	競技方法	延長戦等	備考
男子/J O 予選	25-10-25	トーナメント方式	第1延長・7mTC	〔注1〕参照
男子/クラブ予選	25-10-25	リーグ戦	実施しない	〔注2〕参照
女子/J O・クラブ予選	25-10-25	トーナメント方式	第1延長・7mTC	〔注3〕参照

〔注1〕 3位決定戦を実施する。

〔注2〕 リーグ戦の順位決定については、次のとおりとする。

- (1) 順位決定はポイント方式（勝：2点、引き分け：1点、負：0点）による。
- (2) 勝点が同点の場合は、25%ルールは適応せず、次の a～d の順序で順位を決定する。
 - a 得失点差の多いチームを上位とする。
 - b 総得点数の多いチームを上位とする。
 - c 同点チーム間での対戦結果の勝ちチームを上位とする。
 - d 抽選で、順位決定を行う。

〔注3〕 上位チームから順に、各本大会への出場権を決定する権利を得る。

4. 競技時間・退場（失格）者の表示および終了・チームタイムアウトの合図等

	日新製鋼呉体育館
競技時間の表示	電光公示時計
方式（加算・減算）	加算式
退場（失格）者の表示	退場タイマー
終了の合図	ブザーまたは笛
チームタイムアウトの合図	ブザーまたは笛

※退場者の入場に関しては、チームの責任で行うこと。

5. 大会試合球

（財）日本ハンドボール協会公認球 アセンテック ヌエバを予定。

6. トスの実施、ユニフォームの確認、メンバー表およびチーム役員・選手登録証の提出

- ① 代表者会議後にチーム役員証および選手証の確認を受けること。また、正誤表を提出すること。
- ② トスの実施、ユニフォームの確認はそのコートのオフィシャル席前で、第1試合は競技開始30分前、第2試合以降は前の試合のハーフタイム時に行う。その際、チーム代表者はGKとCPの全ての種類のユニフォーム（濃淡・番号が明瞭に識別できるもの）を持参すること。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更することとする。
- ③ 併せてチーム代表者は、メンバー表（チーム責任者には「A」、他の役員には「B、C、D」の記号を記載したもの）およびチーム役員・選手登録証をテクニカルデレゲート（TD）に提出すること。

7. メンバーの確認

- ① 代表者会議で決定したチーム役員・選手だけが、競技に参加することができる。チーム役員以外の臨時トレーナー（代表者会議にて申請）については、別に席を設ける。
- ② 試合開始前までにTDは、提出されたチーム役員・選手登録証を台帳（プログラム）および公式記録用紙と照合・点検しておくこと。

8. 公式記録用紙の確認、チーム役員用カードの着用

- ① 試合開始10分前にチーム責任者は、チーム役員の氏名・記号および選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されているか確認し、サインすること。
- ② チーム役員は、オフィシャル席に用意してある「チーム役員用カード」を着用すること。ただし、公式記録用紙に記載された記号と同一であること。なお、カードは試合終了時に返却すること。

9. 松ヤニ・松ヤニスプレー等の使用

- ① 当大会は両面テープのみ使用可とする。
- ② 松ヤニ、松ヤニスプレー、すべり止め用クリーム・樹脂等の使用を禁止する。

10. 更衣、練習会場、二足制の遵守

- ① ユニフォーム等を着替えるときは、更衣室を利用すること。
- ② ウォーミングアップのための練習会場は、特に準備していない。従って、屋外でのウォーミングアップが予想されるので、シューズは屋内用・屋外用の区別をすること。シューズの屋内・外兼用は厳禁とする。
- ③ 規定の場所以外で屋内シューズを使用した場合、失格とすることがある。

11. コート練習およびフロアへの入場

- ① コートでの練習は、第1試合のチームは試合前、第2試合以降のチームは前の試合のハーフタイム時および試合間とする。
※ 土・松ヤニ等の付着していないボールを使用すること。
- ② 第2試合以降のチームの競技フロアへの入場は、前・後半終了5分前とし、試合の妨げにならないよう静かに待機すること。
※ ボールの有無にかかわらず、試合中の競技フロアでのウォーミングアップは禁止。

12. 交代地域での飲料水の補給

ストロー付または完全にフタのできる飲み口の細い容器を使用し、シート・フロアを濡らすことのないよう注意すること。

13. テクニカルデレゲート、裁定委員会

- ① 当大会では、円滑な競技運営のためにテクニカルデレゲートを置く。
- ② 当大会の競技の健全化を図り、失格（3回目の退場による場合は除く）の判定があったとき、その処置を適切に行うために必要に応じて裁定委員会を開く。委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長とし、必要に応じて当該のテクニカルデレゲート・審判員・チーム役員等の関係者を同席させる。

14. 競技規則の確認

（公財）日本ハンドボール協会 HP「2018年度競技規則（2018.4.2）」ならびに「平成30年度 JHA オフィシャル並びにテクニカルデレゲートの任務と競技運営に関する事項（2018.4.1）」「服装や保護を目的とした装具に関する規定（2018.4.1）」を熟読し、理解しておくこと。